

# 最大出力の溶接機導入

姫路のメーカー 効率や品質向上へ

溶接製品設計・製造の  
さくらい工業(姫路市)  
は、ドイツのIPGフォ  
トニクス社が開発した世  
界最大出力のファイバー  
レーザーを国内で初めて  
導入し、品質や生産性の  
向上に取り組んでいる。  
電機、重機、車両メー  
カーへの販売強化を狙  
う。

などの製造装置や燃料電  
池などを製造。レーザー  
溶接は、放電現象を利用  
した従来のアーク溶接よ  
り溶接部の面積が小さ  
く、金属への負荷が少な  
い上、時間も二十分の一  
ほどに短縮できる。

発振器でつくられた二  
十ワットのレーザー光は、  
光ファイバーを通して伝  
送され集光。接合部のみ



厚さ30ミリの金属を溶接できる世界最大出力のレーザー。姫路市御田野町御嶺

を瞬間的に溶融させる。

これまでのレーザーは厚  
さ二十ミリの金属を溶  
接できたが、導入したレ  
ーザーは最大で三十ミ  
リまで可能となる。

同社は「熱伝導率が異  
なる材料の接合もできる  
ようになった。二酸化炭

素の削減にも貢献でき  
る」としている。

(三宅晃貴)